

研究会総会抄録

下記のように日本フィッション・トラック研究会の総会が、1997年8月と10月に二回開催されました。

1997年8月29日

滋賀県今津町ピラデスト今津/第22回フィッショントラック研究会（年代夏の学校共催）：出席会員14名

総会報告事項

- 1.1996年度会計報告
- 2.立教大学原子炉研究所炉の閉鎖延期の要望書提出
- 3.地質学会夜間小集会開催のお知らせ
- 4.アンケート結果（研究会の開催時期などに関して）の紹介
- 5.ニュースレター第10号発行の報告

今回の総会は昨年度12月の開催から日も浅く、また開催時期を変更した最初の年であるため、総会参加者が少ないことが問題となりました。これを受けて、10月に行われる地質学会夜間小集会を正式に、1997年度の2回目の総会として執り行うことが提案され、承認されました。したがって以下の協議事項については10月の総会においてあらかじめ議論することとなりました。

協議事項（次回総会に持ち越し）

- 1.会則・投稿規定の変更
- 2.来年度の会長・委員の選出

1997年10月11日

九州大学六本松キャンパス/日本地質学会年会夜間小集会：出席会員18名

報告事項

- 1.第22回フィッショントラック研究会（年代夏の学校共催）および1997年度日本フィッショントラック研究会第1回総会について

討議事項

- 1.日本フィッショントラック研究会会則およびフィッショントラックニュースレター投稿規定の変更
- 2.新会長・委員の選出（任期は98年度から2年間）：新会長として姫路工業大学の松田高明さんが選出されました。新委員として、渡辺公一郎（九州大学）さん・雁沢好博（北海道教育大学）さん・伊藤久敏（電力中央研究所）さん・長谷部徳子（金沢大学）さん・田上高広（京都大学）さんの5名が選出されました。
- 3.入会申込1件

フィッション・トラックニュースレターの投稿規定変更に関しては、編集委員会より主旨を説明した後、変更点に関する議論、誌名変更を含む本誌の編集方針全般に関する議論が行われました。本誌の編集方針全般につきましては、あらかじめ会員アンケートを実施し、結果を基に次回総会で引き続き議論することになりました。

新刊紹介

Advances in Fission-Track Geochronology
Peter Van den haute and Frans De Corte編

Kluwer Academic Publishers社発行

On Track 15号でも紹介されたように1996年Gentで開催されたInternational Workshop on Fission-Track Datingの論文集が出版されました。

これまでは、この研究集会のポストプリントは雑誌 *Nuclear Tracks (and Radiation Measurements)*

（1994年より *Radiation Measurements* と誌名変更）の特集号として出版されるのが通例だったのですが、誌名変更なども反映して *Radiation Measurements* 誌の雑誌としての性格が徐々に変わってきたこともあり、1996年のワークショップのポストプリントは同誌の特集号としてではなく、単行本として出版されることになった由です。

この本には、ワークショップで講演されたもののうち、21タイトルの論文が掲載されており、本研究会の会員による論文も3編含まれています。論文は4つのSectionと1つの技術ノートと著者索引が付いています。各Sectionのタイトルと掲載論文数は以下の通りです。

Section I: 5論文/Track Fundamentals, Dating
Methodology and Age Calibration
Section II: 3論文/Track Annealing
Section III: 9論文/Thermochronology
Section IV: 3論文/Glass Studies
Technical Note: 1論文